

国際コンファレンス

「持続的・包摂的な成長に向けたアジア金融セクターの強化」

セッション1 「グローバルな金融規制改革 – アジアへのインプリケーション  
と教訓」

バーゼルⅢを含む、グローバルな金融規制改革の  
アジアの金融機関と経済へのインプリケーション

アジア開発銀行研究所  
シニアリサーチコンサルタント  
ピーター・モーガン  
アジア開発銀行研究所  
リサーチフェロー  
ビクター・ボンティネス

概要

この研究の目的は、バーゼルⅢ自己資本規制を含む最近の様々な世界的金融改革が東アジア経済および金融機関に与える影響についての理解を深めることにある。本稿ではまず初めに、2007年-2009年の世界的金融危機の教訓とアジア経済への影響を再考する。その後、公表された主要な規制改革と新興国経済に対するその影響への懸念について述べる。続いて、バーゼルⅢ自己資本規制の経済成長への影響の定量化を目的とする文献を検討する。さらに、バーゼルⅢ自己資本規制が東南アジア（マレーシア、インドネシア、フィリピン、タイ）の金融機関に及ぼす影響について、経済成長への影響に主眼を置いた定量化手法と定量的分析を明らかにする。最後に、得られた結果の政策へのインプリケーションを、東南アジアの国々の金融セクターと経済成長の双方について考察し、この研究の結論とする。